

2019年5月23日

各 位

会 社 名 マックスバリュ西日本株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 加栗 章男
(コード番号 8287 東証二部)
問い合わせ先 取締役人事総務本部長 岡本 芳明
(082-535-8511)

当社取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

当社は、イオンの基本理念のもと、お客さま、地域社会、取引先、株主、従業員など、様々なステークホルダーの視点から、経営の透明性・公正性やリスク管理の徹底、適時適切な情報開示に配慮しつつ、企業経営の効率性と経営の意思決定の迅速化を高めることを通じて、企業価値の継続的な向上を図ることをコーポレートガバナンスの基本方針としております。

この方針に基づき、本日開催の取締役会において、下記のとおり今年度の取締役会の実効性の評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 評価方法

取締役会の実効性に関するアンケートを全ての取締役及び監査役に配布し、回答を得ました。取締役及び監査役の回答を踏まえ、取締役会の実効性を高めるための必要策について十分な議論を行いました。

<アンケート項目>

- (1) 取締役会の構成と運営
- (2) 経営戦略と事業戦略
- (3) 企業倫理とリスク管理
- (4) 業績モニタリングと経営陣の評価・報酬
- (5) 株主等との対話

その他、取締役会の実効性に関する自由な意見を求めました。

2. 評価結果

上記評価方法により、質問項目全般にわたり概ね適切であることが確認され、取締役会の実効性は確保できていると評価いたしました。一方、事業戦略の議論・モニタリングについては更なる改善の余地があることを確認いたしました。

3. 実効性向上に向けた今後の取組み

当社取締役会は更なる実効性の向上に向けた取組みとして下記を実施していくこととしました。

- ・中長期的な事業戦略についての審議を深めるため、取締役会における戦略議論の機会をさらに増やします。
- ・取締役会において、重要成果指標（KPI）を定期的にモニタリングし、PDCAを回す仕組みを定着化させます。

以 上